

令和2年第19回（定例）高砂市教育委員会 会議録

日時

令和2年9月24日午後1時30分

場所

高砂市役所南庁舎2階会議室2

出席者

衣笠教育長、山名委員、吉田委員、神尾委員、布施委員

出席事務局職員

永安教育部長、阿部教育推進室長、赤松学校教育室長、北野教育推進室教育総務課長
中野教育推進室生涯学習課長、高橋学校教育室学務課長、矢野学校教育室学校教育課長
横山学校教育室学校教育課主幹

本日の会議に付した事件

議案

- 1 社会教育関係団体登録申請について
- 2 高砂市社会教育委員の委嘱について

報告事項

- 1 高砂市議会令和2年9月定例会の報告について
- 2 公用車による交通事故について
- 3 高砂市教育委員会事業後援・共催について

その他

- 1 10月行事予定について

議 事 議案 1 社会教育関係団体登録申請について

○事務局 (議案 1 について説明)

○教育長 何か御質問はございますか。

それでは、12の登録団体の申請については承認可決いたしました。

議 事 議案 2 高砂市社会教育委員の委嘱について

○事務局 (議案 2 について説明)

○教育長 何か御質問はございますか。それでは、御承認いただきましたので、8日に遡って委嘱をさせていただくということで、次回の社会教育委員の会の際に委嘱したいと思います。

議 事 報告事項 1 高砂市議会令和 2 年 9 月定例会の報告について

○事務局 (報告事項 1 について説明)

○教育長 何か御質問等、御意見を含めてありましたらお願いします。

○委員 SDGs の取組というのが、学校の教育の中では具体性に欠けるものや、取組項目が教育に属さないものもありますが、自然環境を守ろうとか、平等性を進めるとか、すごく理想の高いレベルで動いているので、本当に難しいところだと思います。けれども、意識を定着させるためには、本当に日々取組んでいかなければならないと思います。最近の新聞を見ていると、どの新聞でも SDGs について色々書いてあり、SDGs に関しての具体的な企業もいっぱい宣伝しているのに、学校の中でどんな形の取組をしているのだというのが分からないところが多いので、この意義をもう 1 回考えて意識づけをすることがすごく大事だと思います。

○委員 同じ意見です。SDGs について、大人でも皆さん知っているとは言えないと思います。小学校、中学校の子供たちは、SDGs についてどのぐらい答えられるのかなと思います。SDGs の内容が教科書に載っているけれども、全体を通して SDGs について話合いの場だとかを持ったりして、子供たちの理解度を高めていく状況にあるのか、それともまだまだ SDGs ということをはほとんどの子供たちが理解できていないのか、どうなのでしょう。

○委員 子供たちが今テレビ離れをしていますから、世の中を知っているようであまり知らないと思います。見たいものだけを YouTube 等で見ている子供たちには情報が入らないので、あえて学校で新聞の中で拾い読みをしてみるとか、今、こんなにニュースになっているの、知っていますかということを先生たち

が子供たちに伝えていかなければいけないと思います。SDGsについても、多分子供たちは知らないと思います。ですから、常々から少しずつ世の中のことを、小さい子供でも分かる話はあると思いますので、そういうことを知っていかなければいけない時代かなというのは感じています。

○事務局 SDGsを具体的に子供へしっかり教える、そのための時間を取るといのはあまり学校では行われていないと思います。どの教科書にも、SDGsにきちんと向き合っていますというマークがついていて、小学生も中学生も目にはしていると思います。しかし、それをしっかりと国連や条約で批准されているSDGsにつなげるという作業は、各学校はなかなか行えていないのが現状です。そういった現状ですけれども、SDGsが目指す17の目標ということについては、総合的な学習などで、例えば環境の問題ですとか人権の問題ですとか、そういったことにはきちんと向き合っただけで考えさせる時間、課題として捉えさせる時間、まとめる時間、そういったものはきちんとあります。ただ、それがSDGsというものを意識して、そこへ向かっているという取組はなかなかできていないのが現状なのかなと。今後、御指摘いただいたように、つなげていくということも必要なのかなと考えているところです。

○教育長 それぞれの学校でそれぞれの子供たちがこういったSDGsに関連する学習をしていますけれども、それがどう結びついているのかという意識をしないまま行われていたら効果は薄いと思います。先生方にもSDGsの項目や目標について今指導をしているという意識を持っていただくということが、もっとこれにつながるような学習になると思いますので、そういった辺りを今後先生方と共に整理していきたいと思います。それぞれ質問をいただいた議員の方もすごく勉強をされていて、SDGsについて、いろいろと資料も頂いていたりして、先進地の資料を頂いたり、そういうのも参考にしながら、高砂市においても進めていきたいと考えています。市全体としても、SDGsを前面に出したような形で取り組んでいますので、教育の場でもそれを生かしていきたいと思っています。

○委員 それに関してですが、言っている基本は何であるか、地球環境を守って、人生を平等に生きて、地球が汚染されて住めなくなるような環境をつくるのをやめましょうという、人類愛とか、いろんなことをしていこうというのが根底にあります。そういうことが大事で、項目一個一個を見てみたら、人を大事にして平等性を進める、地球環境をよくしようということですから、子供にとっては国連で決めたことを理解できる教育をしていってほしいなと思います。

○委員 置き勉の件ですが、小中学校ごとに学校だよりで通知しているという話があるのですが、実際どの程度、各小中学校で置き勉を認めているのでしょうか。

○事務局 半数近くの小学校で、学校だより等で置いて帰ってよいもの、持ち帰るべきものということを保護者にもお知らせしているとのこと。それ以外の学校に

についてもきちんと子供たちに指導はしているということで、10校とも置き勉強は認めて指導をしています。その中で、基本的に宿題のある、国語、算数等、学力を確保するためのものは持ち帰らせるということでした。実技系の教科、鍵盤ハーモニカ、絵の具、習字セット、そういったものは学校に置きなさいということでした。国語辞典ですとか資料集ですとか、そういったものも学校に置いておくように指導しています。また、そういう道具類だけではなくて、置いておくことができる教科書につきましても、例えば保健の教科書、家庭科の教科書など、置いておいても差し支えない教科書も学校で集めて教師が保管しているということも聞いております。基本的に10校とも持ち帰らなければならぬものと置いておいてよいものをきちんと指導していると回答を得ていません。

○教育長 教育委員会としては、基準みたいなものは示す必要はあるのか、やりますかという話は。市としての考えがあるのですかということはどうですか。

○事務局 基準を示すということは考えていませんでした。現状、各学校がやっていることで今後もそれを徹底していけばいいと考えています。

○委員 ノーランドセル通学ということも出てきていますが、宿題のある教科書は持って帰るとしても、ランドセル自体が重いからリュックでもいい等、色々できると思います。荷物を減らすことに対して、学校によっては緩んできているところがあるように思います。もう1度置き勉強について聞いていただくとか、市のほうから指針を出していただく等、具体的な情報や具体策を示していただいたほうがいいのかと思います。

○教育長 学校ごとにばらつきがあってはいけないことですので、教育委員会といたしましても、ある程度の基準を示しながら、しっかりと検証して評価していくことに努めていきます。

○委員 本人の体重に対して何割の荷重をかけてはいけないというのがあり、長期持続した形で持つと、その子の発達に関して影響が出ることは実証済みですので、きちんとルールを守らなければいけないと思います。また、ランドセルに限らず、本人に負担にならないような持ち運びのいい収容できるカバン等、色々なものが自由であってほしいと思います。ランドセルは必ずしも必要ありません、教科書の形を保てる持ち運びのできるものだったら何でもいいですよというのを教育委員会で一度提言して提案してあげたほうがいいのではないかと思います。次に、各学校の先生方が宿題を出すときに、持ち帰らせるためにどうするか。その日の宿題の出し方を限定してあげたらいいと思う。宿題の出し方や、持ち帰りを本当に真剣に考えてあげてほしい。

○教育長 この議員さんの言われたノーランドセルというのが、ランドセルをナップサックに変えるのではなくて、小さなバッグに連絡帳と筆記用具だけを入れて、教科書も何も持たずに、そういうのをやりましょうというノーランドセル。実際

学校のほうに調査をかけたときに、ナップサックのようなかけるものもいいのだけれども、中身に入っている重さで食い込んで、ランドセルが一番合理的にできているという判断という返事が結構多かったです。ランドセルが重たいのではなくて、中身の教科書であったり資料集であったり、そういうものを軽減していこうという結論になったという学校が多かったです。置き勉についても色々ご意見をいただきましたけれども、校長会でもお伝えして、健康面にも配慮した形で十分にやっていっていただくように周知徹底していきたいと思しますのでよろしくをお願いします。他に何かありますか。

- 委員 7ページの学校の中での水分補給に対してですが、水筒の水がなくなったときにどうするか。以前どんな形で子供の水を補充するかというのが挙がって、結論が出ないままでいた記憶があるのですけれども、熱中症対策として飲んでいい水を与えられるようにしておかないと。水筒の水がなくなったときにどうするかといったときのマニュアルがあるのか教えてください。
- 事務局 今のところマニュアルはございません。
- 委員 水分の補充ができるような形にしてあげないと。学校へ持っていく水分補給に関しても、スポーツドリンクは今でも禁止ですか。
- 事務局 教育委員会としては禁止とは言っていません。保護者からの申出があれば認めると言っています。
- 委員 氷水やお茶を入れている子が一番多いと思います。一時あったのが、自分で食塩水を作って、それを持ち込んでくださいという話があったと思います。そのときに、市販のものはいかがでしょうかということになって、そのときはまだ認められていなかったです。今は希望があれば持ってきてくださいと言っているみたいですが。学校として暑さ対策、熱中症対策をしていて、小学校はすごく徹底しているのですが、中学校はもう一つ曖昧さが残ってしまっているような印象を持っています。実際、いざ倒れたときにはどうするのか。学校で水分が供給できるシステムを考えてあげないと駄目な気がします。
- 事務局 保健室ではアクエリアスですとかポカリスエットを水で薄めて、養護教諭が工夫をして子供たちに与えていると思います。
- 委員 症状が出ている前に、自分で水分が補充できる形、子供って我慢するところがあると思うので、少なくなってきたときに水を補充できる、冷たい水を飲みたいと思ったときに、安全な水を飲める形をつくってあげられないかなと思います。
- 委員 中学校は給水器があって小学校はないです。中学校ではそういう水を補給できる装置があって、小学校も置けばいいのではと簡単に思ってしまうのですが、これは置くという方向ではないのですか。その給水器は使えないのですか。
- 教育長 今、熱中症対策としての水分補給で、給水器等の話が出ましたけれども、検討課題ということで、何らかの形で子供が重たい水筒を持ってきて、それもなく

なってしまうという状況を改善するようなことは考えていきたいと思えます。
ほっておいてはいけない課題だということは十分認識しております。

○委員 ICT支援員の話が6ページで出ていますけれども、9月の中旬から配置という話が先ほどあったと思いますが、実際9月の中旬が過ぎて、現在どんな状況なのかというのをお聞かせください。

○事務局 9月14日から学校に配置いたしております。今週で2週目でございます。

○委員 実際にどのような活動をされているのですか。

○事務局 今、電子黒板の接続や、先生方に接続の仕方を説明したり、授業で活用しているので途中でトラブルがあったら支援をしたりしていただいています。

○委員 進んでいるということですね。ありがとうございます。

議 事 報告事項2 公用車による交通事故について

○事務局 (報告事項2について説明)

○教育長 何か御質問等がございますか。

○委員 動いている車同士がぶつかった場合、過失が7、3や8、2だとかいう話がよくあるのですが、今回のケースは10、0でいいのですか。

○事務局 相手とも相談、協議の上、100%相手方が悪いという形です。代理人申立てをしていて、その協議の上、承諾書で請求手続をしているという状態です。

○委員 それは10、0ということですか。

○事務局 はい。10、0という形です。

議 事 報告事項3 高砂市教育委員会事業後援・共催について

○事務局 (報告事項3について説明)

○教育長 何か御質問はございますか。それでは、後援5つと共催2つにつきましては了解いただきました。よろしく申し上げます。

議 事 その他1 10月行事予定について

○事務局 (その他1について説明)

○教育長 行事予定の中で、追加で報告をお願いします。

○事務局 小学校の運動会について追加で報告させていただきます。

10月22日の木曜日の午前中に曾根小学校。23日金曜日、伊保南小学校、中筋小学校、米田小学校、米田西小学校。27日火曜日、伊保小学校。28日水曜日、高砂小学校、荒井小学校。29日木曜日、阿弥陀小学校と北浜小学校となっております。いずれも実施時間は午前中のみで、種目の精選等により、例年よりは

短縮した形で実施するということになっております。

- 委員 保護者見学はどこもなしですか。
- 事務局 はい。いずれも保護者見学なしとなっております。
- 委員 練習の見学もなしですか。
- 事務局 そういう計画をしている学校が何校かあるというのは聞いています。
- 教育長 貴重な御意見をいただきましたので、そのことにつきましては現場の先生方にお伝えしていき、子供たちのことを考えたような学校での生活が行われますよう努めてまいりたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。
- 委員 今日でなくてもいいのですが、総合教育会議でも話が出ましたけれども、荒井幼稚園の3歳児がどんな感じになっているのか、その辺りも教えていただけたらありがたいです。
- 教育長 高砂市幼児教育の会で話される課題なので、どんな状況かということはまた教育委員の皆様にもお伝えしていきたいと思います。

令和2年9月24日 午後3時33分 教育長会議の閉会を宣告
